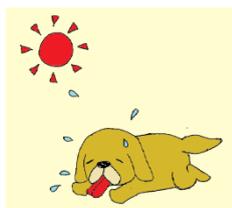


# 犬や猫も熱中症にご注意！！



気温が25℃を超えると、人間と同様に、犬や猫も熱中症の危険性が高まります。犬や猫は呼吸で体温を調整しており、人間のように大量に発汗して体温を下げる事ができないため、人間以上に熱中症への注意が必要です。対策をしっかりとって、大切な家族を熱中症から守りましょう。

## 🐾 こんなところに注意しましょう！

### ・気温と湿度

ペットのいる場所は風通しをよくし、日陰など直射日光を避けられる場所を作りましょう。室内でも、室温によっては扇風機やエアコン等により温度管理をしましょう。気温が高なくても湿度が高ければ熱中症になることもあります。湿度の管理も行いましょう。また、自動車の中は気温が急上昇し、大変危険です。自動車内でのお留守番はやめましょう。

ひんやりマットなどのグッズもあるよ♪



### ・飲用水

水分不足は脱水症状を招きます。いつでも新鮮なお水が飲めるようにしておきましょう。なお、水が飲める場所は複数あるとよいでしょう。

### ・散歩

犬や猫はアスファルトに近く、地面からの輻射熱（反射熱）の影響を受けます。涼しくなったと思っても、地面はまだ熱をもっていることもあります。散歩に行く前に地面を触る等により確認し、涼くなってから散歩をしましょう。



### ・その他

特にバグやペキニーズなどの『短頭種』と呼ばれる犬種は、呼吸しづらい喉の構造であるため、熱中症に注意が必要です。

脂肪は熱を閉じ込めるので、太っている犬や猫も要注意。

長毛の犬や猫は熱がこもりやすいので、夏の間だけ毛を短くする”サマーカット”も効果的です。

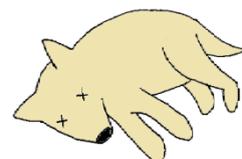


## 🐾 熱中症の症状

- ・体が熱くなり、口を開けて”パンティング”と呼ばれる浅く速い呼吸をする。
- ・呼吸が速くなり、よだれを出し、喘ぐ。
- ・舌の色が濃くなり、目が充血する。
- ・ひどい場合には、嘔吐や血便、意識喪失などを起こし、命に関わることも。

## 🐾 もし、熱中症になってしまったら・・・

- ・日陰の風通しのいい涼しい場所へ移動する。
- ・全身に水をかける、また、首、内股や脇の下を濡れタオル等で冷やす。
- ・できるだけ早く動物病院を受診しましょう。



### お問い合わせ先

福島県動物愛護センター

福島県動物愛護センター会津支所

福島県動物愛護センター相双支所

田村郡三春町大字上舞木字向田17番

会津若松市追手町7番40号

南相馬市原町区錦町1丁目30番地

電話 024-953-6400

電話 0242-29-5517

電話 0244-26-1351